

1992年2月

この年は大きな変更はなく、車体色には艶やかで気品のあるブラック & シルバーのツートーン塗装を採用しました。

1993年2月

ライダー側と同乗者側(アームレスト部分)に2個ずつスピーカーを設置した4スピーカー・システムを採用し、高品質なサウンドを味わいながら、よりいっそう快適な走行を楽しめる充実した装備となりました。さらに1,520cc 6気筒エンジンのロッカーアームピボットには、ニードルベアリングが採用されました。車体色はブラック & ブラウン・メタリックの豪華なイメージが施されました。

1994年2月

デビューから約20年、ゴールドウイングは改良を重ねながらツアークラスのベンチマークであり続けました。この年は大きな変更はなく、車体色に堂々としたフォルムをより強調する艶やかでボリューム感のあるパールグレイシャーホワイトのモデルが追加されました。

1995年3月

誕生20周年記念車が登場。記念ゴールドトリムと専用エンブレムが装備されました。また日本仕様には大型二輪の量産市販車としては世界で初めてウインドスクリーンに電動ワイパーを装備しました。外観上の違いとしては、シート高を従来モデルより30mm低い725mmに設定し、サスペンションはスポーツタイプに変更されたことで、レスポンスを大幅に向上させるとともに、ゴールドウイング伝統の快適で軽快な乗り心地を両立させました。



1995年 GOLDWING (GL1500) SE 20周年記念車

1996年1月

この年は大きな変更はなく、20周年記念モデルと同様の装備となりました。車体色は鮮やかなパールグレイシャーホワイトと、落ち着いたメタリックグレーのツートーンを新たに採用し、豪華さと気品に溢れたイメージとしました。

1996年12月

この年も装備、スペック等に変更はなく、メーター部の各種インジケーターやスイッチ部にISO規格の絵表示を採用しました。